

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	重度心身障害児等医療費助成事業	所管	保健福祉部 福祉総務課
			TEL 2998-9113

事業の目的 (何の為に 行うか)	重度心身障害者の医療費を助成することにより、本人及びその家族の経済的負担の軽減を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	身体障害者手帳1級～3級または療育手帳マルA、A、Bを所持している者及び、後期高齢者医療の障害認定を受けた者	対象とした数	5,795	人
		実際に 利用した数	118,030	件

活動の内容	(何を したか)	1. 手帳取得後、重度心身障害児等医療費受給資格登録申請により、医療費受給資格の登録を行い受給者証を交付する。 2. 受給者が医療費の交付申請を行う。 3. 医療費を助成を行う。助成の方法 ①現物給付 ②償還払い(保険者からの附加給付金や高額療養費を差し引く)								
	活動実績	項目名	交付件数	702	項目名	助成件数	118030	項目名	助成金額	649888
			-----	単位 件		-----	単位 件		-----	単位 千円

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	661,493	652,160	673,297	1,985.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	一人あたりの支給額	支給額/対象者数	-----	112146	-----
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []								
		終了 ⇒ 事業完了			終了			休止		
	予算	現状どおり * 増額			減額			終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了											
	総合 評価	拡充 縮小		統合		改善・効率化		改善余地なし		その他 []		終了
		予算	現状どおり		増額		減額		終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040100	TEL	2998-9113
事業コード	040120 重度心身障害児等医療費助成事業					
開始年度	昭和 48 年度		—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業	乳幼児医療(福祉総務課)、ひとり親医療(福祉総務課)							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	2 福祉施策の充実	小柱	(2)在宅福祉サービスの充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位		・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)						
	重度心身障害者の医療費を助成することにより、本人及びその家族の経済的負担の軽減を図る。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	身体障害者手帳1級～3級または療育手帳A、A、Bを所持している者及び、後期高齢者医療の障害認定を受けた者			医療費助成件数			
	対象数	単位	平成 18 年度	5,604	人	平成 19 年度	5,795

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		620,717	661,493	715,824
	決算(見込み含む)		590,791	652,160	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (1.00 人) (人) (2.00 人)			
	正規職員人件費		2.22 人 20,424	2.25 人 21,137	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		611,215	673,297	
	財源内訳	一般財源	328,789	377,389	449,092
	国・県支出金	282,426	295,908	266,732	
	受益者負担金				

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	交付件数	医療費受給者証交付件数	件	853	702	723
	助成件数	医療費助成件数	件	110,081	118,030	126,292	
	助成金額	医療費助成金額	千円	587,964	649,888	711,287	
	成果分析	一人あたりの支給額	支給額/対象者数	%	目標値		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
	明らかなった課題	後期高齢者医療制度の開始により、レセプトデータを確認することができなくなったため、医療費の申請方法が変わり、受給者や医療機関に混乱が生じている。またそれ以外にも、申請書の処理件数が増加し、事務が煩雑化している。	見直しの必要性	見直しの必要性
	今期目標項目(何を)	後期高齢者及び前期高齢者の医療費支払い処理の効率化を図る	達成水準(どこまで)	高額の療養費を電算上で算出し、自動的に差し引いて助成する

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性
	事前評価	部内優先順位… 11 位
	評価理由	対象の増加が見込まれる中、委託化による事務の効率化は進めるべきものとする。効率化には償還払いをいかに少なくするかが重要であり、例えば、現物給付について市外に存する病院と個別に契約するなど積極的に取り組まれない。
	評価日	9月1日
	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し

⑨個別計画における方向性	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援
	施策の方向	3経済的支援の充実
	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り
	計画コード	2131